



1 基本方針

現代社会は、少子高齢化の進行により子供たちのふれあいの機会が減少し、人間関係の持ち方やルールを学んでいく社会体験も減少している。また、高度情報化社会の進展によりグローバル化が急速に進んでいる。世界が一体化していく中でAIなどの科学技術は飛躍的に進歩し社会は著しく変化し続けている。このような、めまぐるしい変化の中、教育にも大きな変革が求められている。どんなに時代が変化しようとも、新たな時代をたくましく生き抜くための力を育て、時代によって変わることのない豊かな人間性を育成することが、学校教育の課題である。また、新型コロナウイルスへの対応には、学校、保護者、地域、関係機関等との連携を進めながら、児童の学びを止めることのないように学校体制の構築を図る。

◎小学校教育は、生涯教育の基礎づくりの役割を担っており、そのためには心豊かで人生を切り拓くための確かな学力を身につけた児童の育成を図る。

◎学習指導要領の趣旨を踏まえ、これからの時代に求められる資質・能力を育成し、自らの意思で興味関心と探求心を持ち、自己肯定感を高め、自分の良さを生かされるよう指導法等の改善を図り、魅力ある学校づくりを目指す。

◎学校・家庭・地域及び関係機関等との連携を一層密にして、他人を思いやる優しさ、お互いの人格を尊重し個性を認め合う心の育成を共通の目的として、歩調を合わせて学校経営の推進に努める。

以上の基本方針に基づき、教職員の和と協力により、子供を愛し、伸ばし、地域に開かれ信頼される活力ある学校づくりを推進し、時代の変化を受け入れた柔軟な指導による学校教育の具現化を目指していきたいと考える。

2 教育目標

教育目標

心豊かでたくましい
三山東っ子の育成

めざす児童像

やさしい子

かんがえる子

たくましい子

指導の重点

- 教育基本法
 - ・伝統と文化を尊重する
 - ・我が国と郷土を愛する
- 学習指導要領
- 県教育振興基本計画
 - ①人生を主体的に切り拓くための学びの確立
 - ②道徳性を高める心の教育の推進
 - ③生涯をたくましく生きるための健康・体力づくりの推進
 - ④共生社会の形成に向けた特別支援教育の推進
 - ⑤人間形成の場としての活力ある学校づくり
 - ⑥教育現場の重視と教員の質・教育力の向上
 - ⑦多様なニーズに対応した教育の推進
 - ⑧家庭教育への支援と家庭・地域との連携・協働の推進
 - ⑨人生100年時代を見据えた生涯学習の推進
 - ⑩郷土と国を愛する心と世界を舞台に活躍する能力の育成
 - ⑪「するスポーツ」「みるスポーツ」「ささえるスポーツ」の推進

- 船橋市教育大綱
 - 船橋市の教育のさらなる充実に向けた指針
- 船橋市教育振興基本計画
 - 2つの教育目標
 - 1 生涯学び活躍できる環境を整え、生涯学習社会を実現する
 - 2 自立して、主体的に社会に関わることで「できる子供を育てる」
 - 8つの基本方針
 - ①生涯学習の推進を図る
 - ②家庭と地域の教育力向上を図る
 - ③学ぶ意欲を育て確かな学力の向上を図る
 - ④豊かな心を育成し社会性を高める
 - ⑤健やかな体づくりを進め体力の向上を図る
 - ⑥教職員の力量を高め指導力を発揮できる環境をつくる
 - ⑦ニーズに応じた支援の充実を図る
 - ⑧質の高い教育環境を整備する
 - 留意する6つの取り組み
 - ①多様性と人権への理解を深める
 - ②複雑化する困難から子供を守り、安心して学べる環境整備
 - ③主権者教育の推進
 - ④環境に関する学びの場の提供
 - ⑤ふるさと船橋への思いの育み
 - ⑥生涯学習への意識を育む

やさしい子（徳）

【豊かな心の育成】

- ①豊かな心を育む教育の推進
 - ・道徳の授業実践の充実
 - ・体験活動の充実
 - ・異学年交流の推進
 - ・人と関わる力やリーダー性、コミュニケーション能力の向上
- ②一人一人のニーズに応じた教育の充実
 - ・いじめの根絶を図り「いじめはしない、させない、許さない」の徹底
 - ・自ら進んで挨拶ができる
 - ・SCとの効果的な活用
 - ・学習面や生活面での規範意識の向上を図り、ルールやマナーの育成
 - ・児童理解と個に応じた指導支援

かんがえる子（知）

【確かな学力の育成】

- ①学習の基礎基本の定着
 - ・国語、算数科指導の重視
 - ・朝学習の充実
- ②家庭学習等、学習習慣の確立
- ③ICTの利活用
 - ・わかる授業についての工夫改善
- ④考える力の向上
 - ・課題解決学習、学び合い等
- ⑤読書活動の充実、学校図書館の活用
- ⑥当番活動、係活動、児童会活動、委員会活動の充実を努め、自治活動を推進する
- ⑦ユニバーサルデザインを視点とした授業
 - ・どの子にもわかりやすい授業、教育環境

たくましい子（体）

【健康の保持増進・体力の向上】

- ①基本的な生活習慣の確立
 - ・健康三原則（栄養、睡眠、運動）を学校と家庭が推進していく
 - ・保健・安全、食に関する指導の充実
 - ・アレルギー対応を含めた安心・安全でおいしい給食の実施
- ②基本的な運動を通して逞しい体づくり
 - ・系統性を考慮した体育指導の工夫改善
 - ・新体力テストの分析と活用
 - ・遊友スポーツランキングちばの活用
- ③生涯にわたり運動に親しむ態度の育成
 - ・「東っ子（なかよし）タイム」での遊びの活動を通じての体力向上を目指す

日々の実践を通して信頼される学校をつくる

経営の重点

高め合う教職員集団

安全・安心な学校

地域とともに歩む学校

【指導力向上と授業改善】

- ①校内研究・研修の充実
 - ・研究、研修活動を通して指導力向上を図る
 - ・授業研究の充実
 - ・今日的な課題についての研修
- ②一人一人と向き合ったきめ細かな教育活動
 - ・子供に寄り添った援助
 - ・特別支援教育の推進
 - ・自己決定の場、自己存在感、共感的理解
 - ・生徒指導・教育相談体制の確立
- ③PDCAサイクルによる改善
 - ・学校評価による教育活動の見直し
 - ・人事評価制度の活用
- ④モラルアップと意識の高揚
 - ・モラルアップ委員会活動の推進
 - ・学校運営への積極的な参画

【安全の確保と環境整備】

- ①確実な安全点検と日常点検
 - ・感染対策としてマスク、手洗い、換気の励行と三密の徹底
 - ・安全点検の確実な実施と早期対応
 - ・教育活動を安全に行う準備を整備
- ②安全指導の充実
 - ・地震、火災等の避難訓練、交通安全教室
 - ・危険を予知し回避する安全指導の充実
- ③心が通う環境づくり
 - ・教師と子供が共にきれいな環境に努める
 - ・黙って行う清掃活動（15分間の黙働）
 - ・子供の心に働きかける掲示物の工夫

【地域に開かれた信頼される学校】

- ①教育活動の積極的な公開と情報発信
 - ・1日参観を含む年3回の授業参観
 - ・ホームページの充実
 - ・メール配信の活用、素早い情報伝達
 - ・学校評議員との連携
- ②「学校支援地域本部」との連携
 - ・ボランティアと委員会活動の協働や支援協力体制の構築
- ③地域との連携
 - ・地域の組織との連携
- ④幼保・中学校との連携
 - ・幼保・中学校との授業参観や情報交換等の連携を図る